



 **アズワン株式会社**

東証プライム（7476）

2023年5月12日

2023年3月期決算補足資料

1. 23年3月期 実績

2. 24年3月期 業績予想

23年3月期 実績

23/3期 業績概要

実績

■ 売上高 **914.2億円** 前年同期比 **+5.1%** 計画比 (▲13.6億円)
+44.7億円

13年連続増収・12連続過去最高。
900万点への品揃え拡大とECで旺盛な研究開発需要を取り込む。

■ 営業利益 **113.9億円** 前年同期比 **+22.0%** 計画比 (+7.5億円)
+20.5億円

低採算在庫解消し粗利率回復。柔軟な価格対応で調達コストアップを吸収。
販管費も抑制。 **営業利益率12.5%、過去最高益。**

■ 当期純利益 **81.1億円** 前年同期比 **+12.6%** 計画比 (+6.5億円)
+9.1億円

12期連続増益・11期連続過去最高益。
ROE 12.5%に躍進

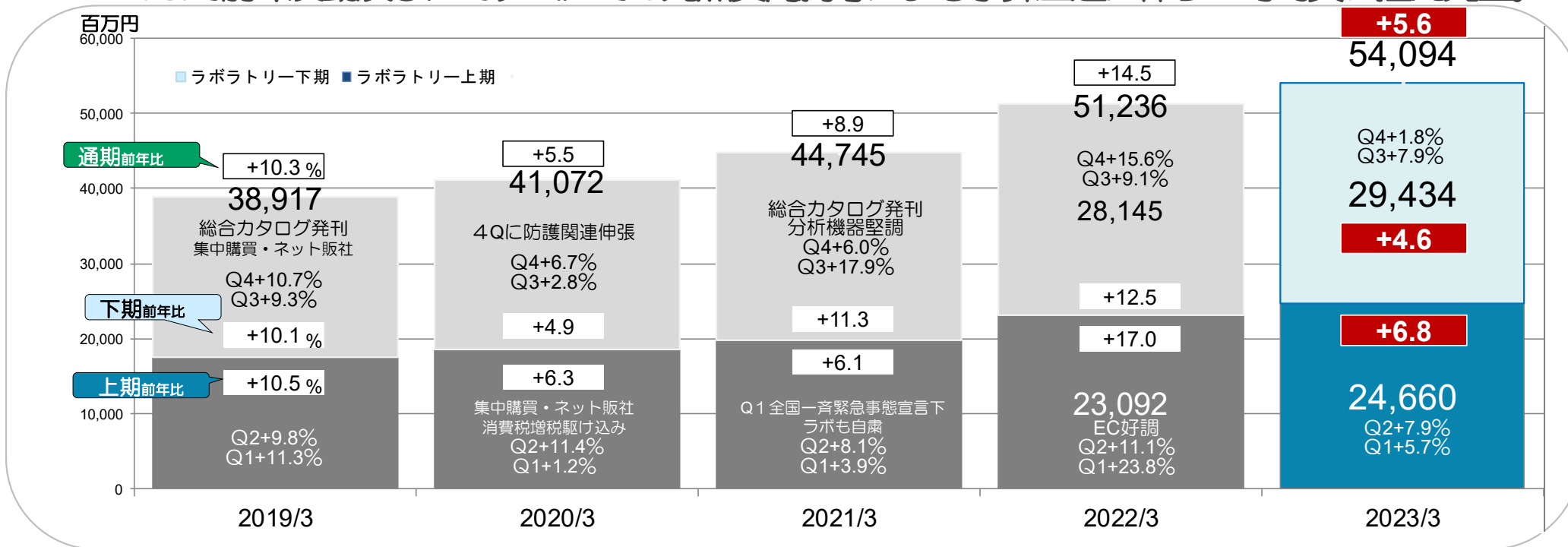
ラボ・インダストリー部門 ラボラトリー (LB) 売上

実績

売上高 540.9億円

前年同期比 **+5.6%** (計画比 ▲13.6億円)
+28.6億円

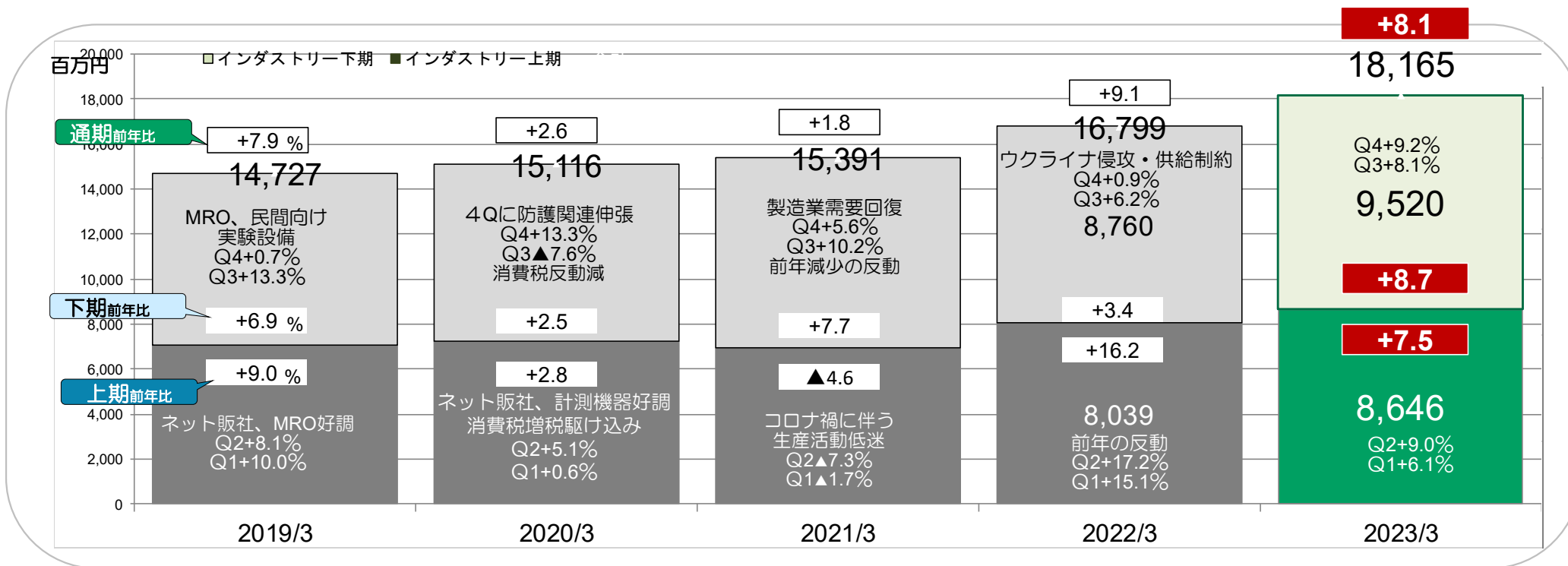
- ECチャネル+26億円、プロダクト軸ではWEB単独掲載品で+22億円。
- 4Qで前年反動及びアカデミアでの光熱費高騰等による予算圧迫に伴う一時的買い控え発生。



ラボ・インダストリー部門 **インダストリー (ID) 売上** 実績

■ **売上高** **181.6億円** 前年同期比 **+8.1%** 計画比 (+2.2億円)
+13.7億円

➤ ECチャネル+11億円。クリーンルーム用品やMRO品等伸張。



メディカル（MD）部門売上

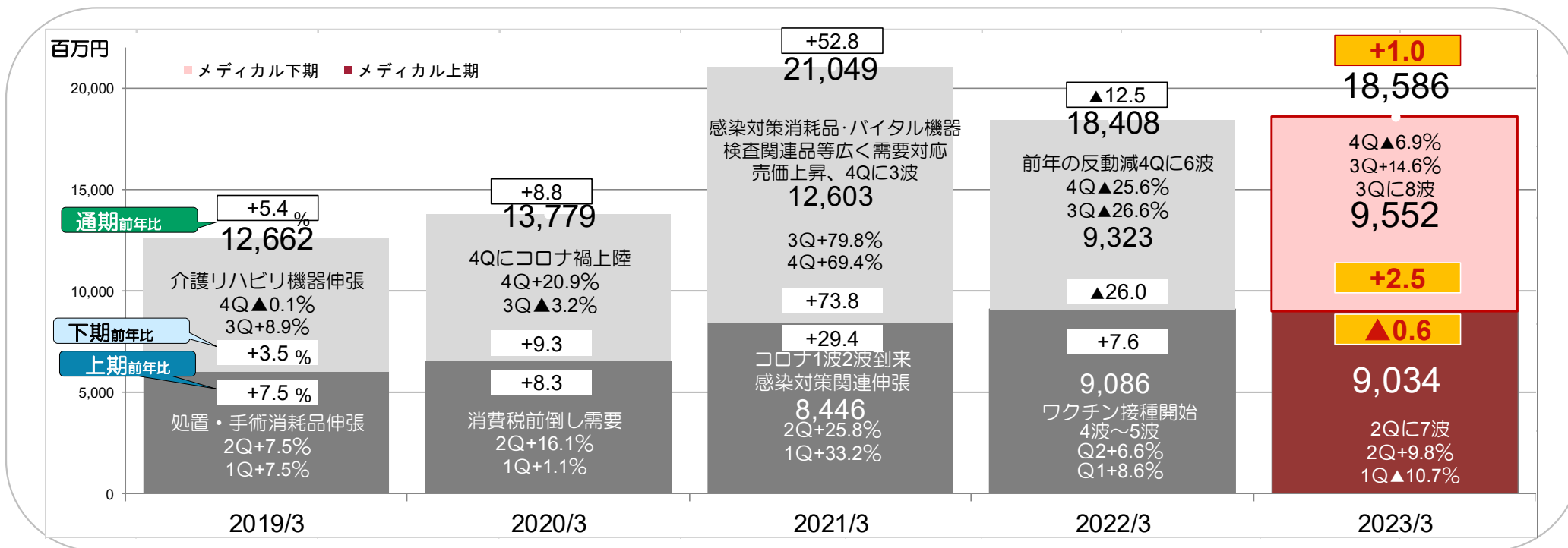
実績

■ 売上高

185.9億円

前年同期比 **+1.0%** (計画比 ▲2.2億円)
+1.8億円

➤ ワクチン接種会場関連等設備品は反動減受けるも、消耗品は堅調。8波収束以降は落ち着く。



その他売上

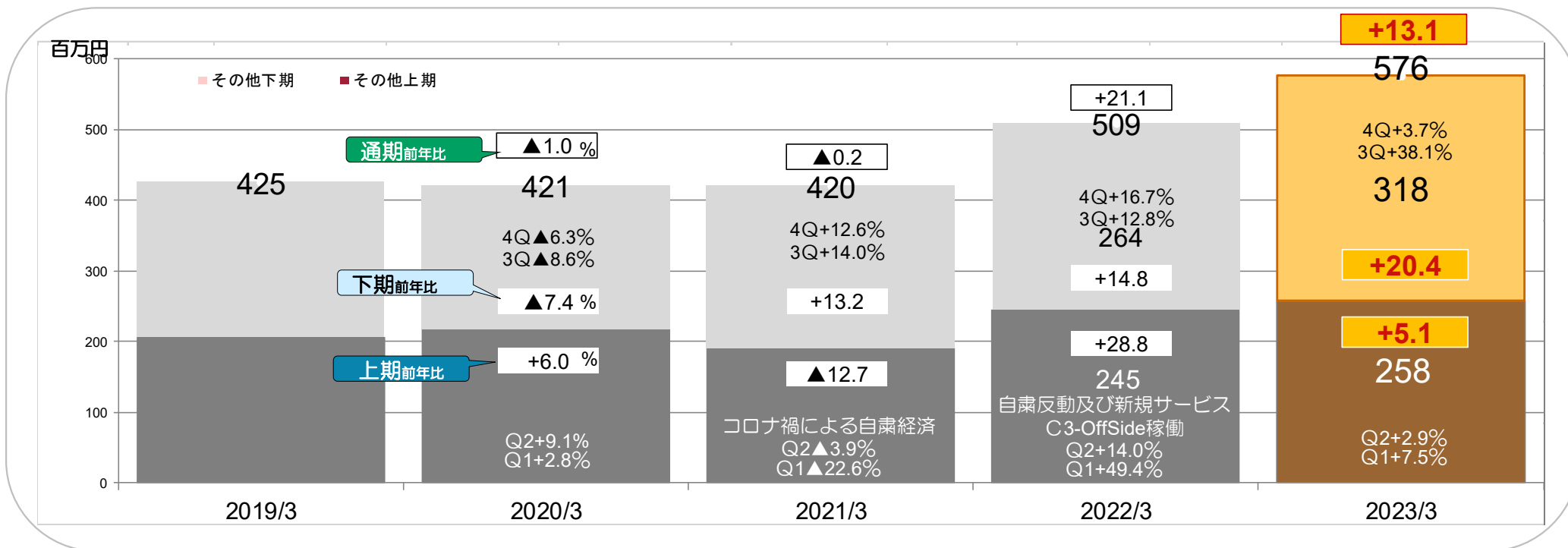
実績

売上高

5.8億円

前年同期比 **+13.1%** 計画比 (+0.0億円)
+0.7億円

- ▶ 子会社トライアンプ21が試薬や研究用物品の購買マッチングをする購買代行システムを運用し手数料売上として計上
- ▶ 3Q一括売上計上有り下期拡大。



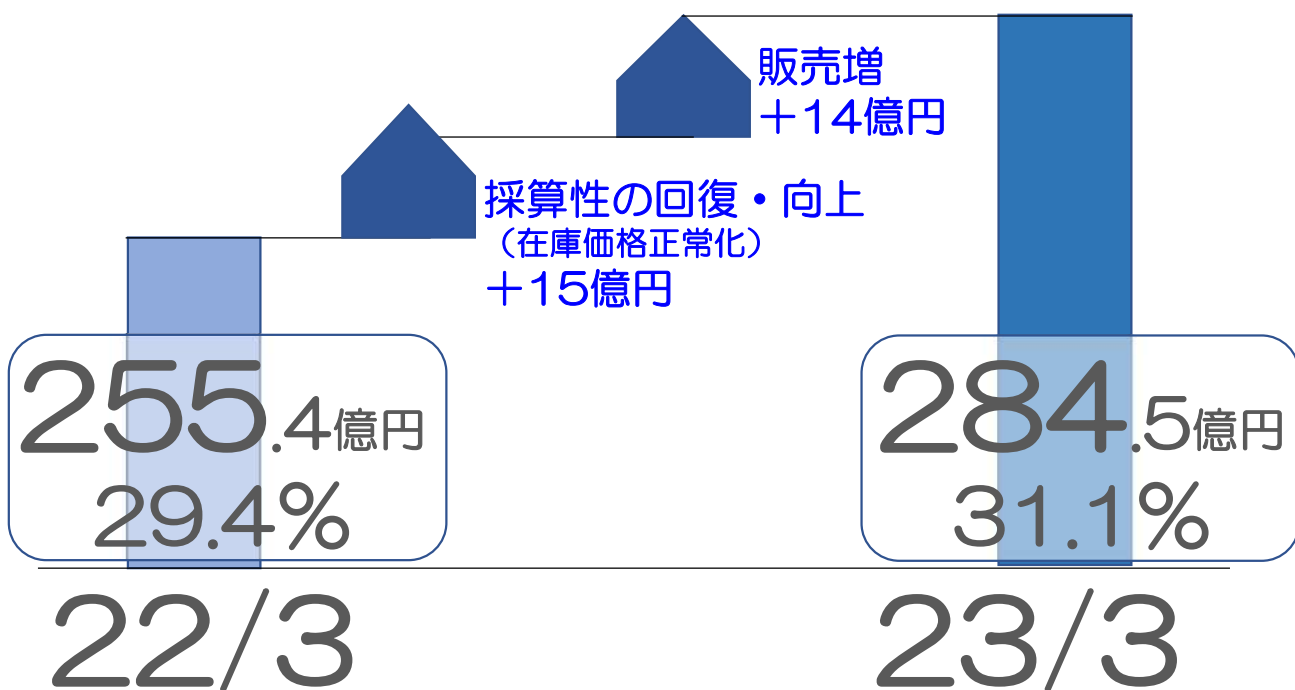
営業利益増減理由（粗利）

実績

■ 売上総利益 **284.5億円**

前年同期比 **+11.4%** (計画比 ▲0.8億円)
+29.1億円

- 総利益率 **+1.7p** Up。前年の一次的低採算在庫が解消し採算正常化。
- 柔軟な価格対応で調達コストアップを吸収。



四半期粗利率	21/3 (コロナ禍下での価格変動異常値)	22/3	23/3
1Q	31.3%	30.7%	31.4%
2Q	31.0%	26.8%	31.5%
3Q	32.9%	30.1%	31.3%
4Q	31.7%	29.8%	30.7%

PB・輸入品実績 (単体ベース)
(前年同期比)
売上シェア **36.9%** (▲0.1p)
粗利率 **+2.7p** (前年同期比)
在庫価格の正常化

営業利益増減理由（販管費）

実績

■ 販管費

170.5億円

前年同期比 **+5.3%** (計画比 ▲8.3億円)
+8.5億円

➢ 採用とベースアップで人件費増。行動費も増やすも計画未消化。倉庫内作業費抑制。

販管費	2022/3	2023/3	計画比		前年同期比		補足
			増減額	増減率	増減額	増減率	
販管費	16,202	17,053	▲ 827	▲4.6%	+851	+5.3%	売上構成比18.7%
広告宣伝費	426	586	▲ 100	▲14.6%	+159	+37.4%	研究用総合カタログ更新（2年毎更新、当該更新年度はカタログ費が増加する傾向）
うち印刷費	125	219	▲ 44	▲16.8%	+93	+74.9%	
人件費	5,857	6,211	▲ 63	▲1.0%	+353	+6.0%	期中平均人数前年646→674人（+28人）
うち退職給付関連	143	203	83	69.3%	59	+41.4%	
運賃・倉庫作業料	4,595	4,664	▲ 374	▲7.4%	+69	+1.5%	売上増加率を下回る結果 作業費抑制運用効果
研究開発費	17	25	▲ 24	▲49.1%	+8	+47.4%	PB品開発費用
不動産賃借料	1,311	1,304	▲ 38	▲2.9%	▲ 6	▲0.5%	保管スペース整理
減価償却費	982	852	▲ 30	▲3.5%	▲ 129	▲13.2%	物流・IT投資の償却進行
ソフト償却費	411	448	▲ 19	▲4.2%	+36	+8.8%	IT投資
その他	2,600	2,961	▲ 176	▲5.6%	+360	+13.9%	前年比：行動関連費用及びシステム経費、光熱費等増加 計画比：行動関連費用及び備品・修繕費等抑制

(単位：百万円)

23/3期 損益計算書

実績

- 拡大中の品揃えとECとの相乗効果が売上寄与。
- 低採算在庫解消し粗利率回復。柔軟な価格対応で調達コストアップを吸収。

	2022/3		2023/3		計画比		前年同期比		(単位：百万円) 補足
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率	
売上高	86,954	100.0%	91,421	100.0%	▲ 1,358	▲ 1.5%	+4,467	+5.1%	3Qまで+6.7% 4Qにアカデミアにて予算圧迫に伴う買控え発生し+1.3%に失速 4月以降回復
売上総利益	25,544	29.4%	28,450	31.1%	▲ 81	+0.4p	+2,905	+1.7p	前期の在庫品の採算性悪化は解消済み。 インフレ・円安等の調達コストの上昇は価格反映で対応。
営業利益	9,341	10.7%	11,396	12.5%	+746	+7.0%	+2,054	+22.0%	粗利率回復と販管費率低減 営業利益率12.5%は上場来最高値 過去最高益更新
経常利益	9,568	11.0%	11,637	12.7%	+837	+7.8%	+2,068	+21.6%	為替差損で1.5億円下押し 過去最高益更新
特別損益	885	1.0%	30	0.0%	30	-	▲ 854	-	前期：投資有価証券整理に伴う売却益
当期純利益	7,202	8.3%	8,112	8.9%	+652	+8.7%	+909	+12.6%	12期連続増益 過去最高益更新
※ 当期純利益/1株(円)	192.68		218.90		+18	+8.7%	+26	+13.6%	自己株買付もEPS向上に寄与

※ 2022年1月に1株を2株に分割。過去に遡及して当期純利益及び配当金を2分の1に補正済。

株主還元状況

実績

配当総額 自己株買額 総還元額

↓ ↓

41 億円 + **65** 億円 = **106** 億円

@111円 1,213千株

総還元性向

↓

= **131%**

当期純利益 = **81** 億円

過去5年平均総還元性向 = 70.5%

5年前過去5年平均総還元性向 = 57.3%

24年3月期 業績予想

環境認識

考慮事項	環境認識	ラボ・インダストリー	メディカル
DX潮流	ポジティブ	○	○
GX・BX	ポジティブ	○	—
インフレ・円安	ポジティブ	○	—
	ネガティブ	○	○
		(官需や多業種分散取引によるリスク分散)	—
人手不足	ポジティブ		(販売価格の適時改定で対応)
	ネガティブ	○	○
コロナ罹患5類移行	ポジティブ		(配達便・ネコポス・自動化・現場改善)
	ネガティブ	○	—
		—	○
		(織り込み済)	(織り込み済・ラインナップと利便性で新たな取り込みを行う)

顧客企業のデジタル購買（EC）利用拡大。医療機関においても浸透の兆し。

各分野において、脱炭素イノベーションに向けた技術開発・研究開発の活発化。
 バイオ技術に基づく社会課題の解決を経団連が後押し。研究開発の活発化。

国内生産回帰。インバウンド向け製品の生産回復。設備投資拡大見通し。
 インフレ圧力による低価格販売競争の軟化

欧米金融当局の沈静化対策による世界経済減速。輸出産業への影響。
 消費者物価上昇に伴う消費減退リスク
 仕入サイドへの影響 輸入品仕入れコストの上昇。

研究シミュレーション・研究用ロボット・介護ロボット等新たなソリューション需要の拡大。
 物流コストの上昇

サービス産業が活性化し、経済活動にプラス効果。
 手術・一般診療需要の復活。コロナ診療医療機関の拡大。

過年度の設備品・重症化リスク高い医療介護施設以外の感染対策用品の需要は減少。

24/3期 通期業績見通し

見通し

前提条件

- GX・BXの潮流が研究開発を後押しし、DX潮流がEC利用を加速。
- コロナ5類後自治体需要減退するも、一般診療・手術件数回復。
- 電力価格上昇等により物価上昇続くも過熱感は徐々に緩和。景気はプラス維持
- 阪神DO開設し成長用物流キャパ拡大。当年売上比1ポイント弱分先行コストアップ。

売上高

966.0億円

前年同期比 **+5.7%**
+51.8億円

営業利益

103.3億円

前年同期比 **▲9.4%**
▲10.6億円

(営業利益率 10.7%)

当期純利益

73.5億円

前年同期比 **▲9.4%**
▲7.6億円

24/3期 分野別通期売上見通し

見通し

単位：百万円

	上期 計画	前年 同期比	伸率 (%)	下期 計画	前年 同期比	伸率 (%)	通期	前年 同期比	伸率 (%)
ラボラトリー	26,280	+1,620	% +6.6	31,781	+2,347	% +8.0	58,062	+3,968	% +7.3
	未来への課題に取り組む研究開発需要は不減。 品揃え・サービス・ECの優位性がオーガニックに成長を促進。								
インダストリー	9,093	+448	% +5.2	9,951	+431	% +4.5	19,044	+879	% +4.8
	自動車半導体不足緩和、非製造業の活動再開、国内生産回帰。設備投資拡大見通し。								
メディカル	9,032	▲1	% ▲0.0	9,902	+350	% +3.7	18,934	+384	% +1.9
	感染対策品はコロナ5類後自治体需要減退するも、医療機関・介護施設は常態的需要。 一般診療・手術件数回復し需要創出。								
その他	283	+25	% +9.9	274	▲43	% ▲13.6	558	▲17	% ▲3.1
	前下期の一括計上分減少するも、購買代行システム利用先増でベース売上は拡大。								
合計	44,690	+2,092	% +4.9	51,910	+3,085	% +6.3	96,600	+5,178	% +5.7

中計施策進捗・見通し

見通し

➤ ECは、アカウント拡大及び品揃え拡充による既存先深耕を図る。 単位：百万円

	22/3 実績	23/3 実績	伸率 (%)	24/3 上計画	前年 同期比	伸率 (%)	24/3 下計画	前年 同期比	伸率 (%)	24/3 年計画	前年 同期比	伸率 (%)
ocean	10,292	11,649	+13.2	6,178	+766	+14.2	7,137	+898	+11.6	13,314	+1,664	+14.3
接続数	249社	285社	—	299社	—	—	—	—	—	323社	+38社	—
Wave	443	773	+74.6	585	+288	+97.3	954	+476	+99.8	1,538	+765	+98.8
稼働ユーザー数	1,622	2,900	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アカウント数	10,284 社	13,878 社	—	— 社	—	—	—	—	—	17,000 社	+3,122 社	—
AXEL Shop	1,939	2,032	+4.8	1,053	+81	+8.4	1,200	+140	+13.2	2,253	+221	+10.9
ネット通販	7,663	9,620	+25.5	5,225	+658	+14.4	5,869	+816	+16.1	11,094	+1,474	+15.3
EC計	20,338	24,075	+18.4	13,041	1,794	+16.0	15,159	+2,330	+18.2	28,200	+4,124	+17.1

➤ 中国は1-12月計画。ゼロコロナ政策解除による正常化。

中国	3,148	3,334	+5.9	1,651	+145	+9.6	1,936	108	+5.9	3,587	253	+7.6
その他海外	1,437	1,552	+8.0	831	+103	+14.1	913	88	+10.7	1,744	191	+12.3
海外計	4,585	4,887	+6.6	2,482	247	+11.1	2,849	196	+7.4	5,311	444	+9.1

※ECはLB/ID/MDそれぞれに売上計上されます。海外はLBに売上計上されます。

主要施策プロダクト軸進捗・見通し

見通し

- 品揃えの拡大は、確実に売上に貢献中。
- 9年前7万点だった品揃えは900万点達成。1,000点前倒しを目指す。
- サービス売上も2桁の伸び。
 - レンタル・校正・受託・特注・フィールドサービス・・・など

	22/3 実績	23/3 実績	伸率 (%)	24/3 上計画	前年 同期比	伸率 (%)	24/3 下計画	前年 同期比	伸率 (%)	24/3 年計画	前年 同期比	伸率 (%)
品揃え	万点 630	万点 900	万点 +270	—	—	—	—	—	—	万点 1,000	万点 +100	% +11.1
WEB単独掲 載品売上高	百万円 9,385	百万円 12,143	% +29.4	百万円 6,482	百万円 +1,047	% +19.3	百万円 8,090	百万円 +1,381	% +20.6	百万円 14,572	百万円 +2,429	% +20.0
サービス売上	百万円 2,597	百万円 2,977	% +14.6	百万円 1,505	百万円 +171	% +12.8	百万円 1,830	百万円 +187	% +11.4	百万円 3,335	百万円 +358	% +12.0

※WEB単独商品売上及びサービス売上はLB/ID/MDそれぞれに売上計上します。

粗利見通し

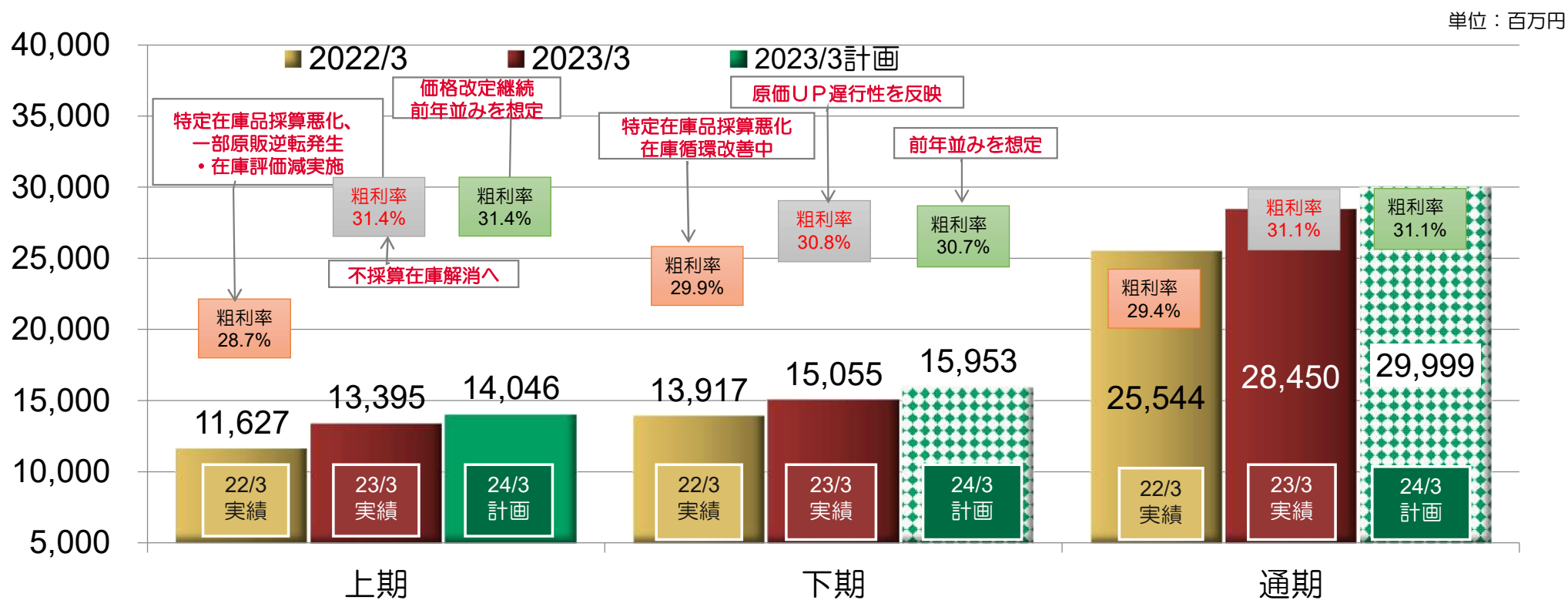
見通し

■ 売上総利益

299.8億円

前年同期比 **+5.4%**
+15.5億円

➤ 4月も価格改定実施。機動的プライシング継続。



販管費見通し

見通し

■ 販管費

196.7億円

前年比 **+15.3%**
+26.1億円

▶ 26億増円増。うち、阪神DC開設コストは既設マテハン利活用で賃借料・償却費等で9億円に圧縮。

	2023/3 実績	2024/3 予想	前年比増減額		通期前年比		補 足
			上期 計画	下期 計画	増減額	増減率	
販 管 費	17,053	19,668	+1,339	+1,275	+2,614	+15.3%	(単位：百万円)
広告宣伝費	586	714	+95	+33	+128	+21.9%	WEB広告強化 3Qに医療用総合カタログ&4Q中国語 カタログ
うちカウパ [®] 費	219	178	▲ 3	▲ 37	▲ 41	▲ 18.8%	
人件費	6,211	6,630	+181	+237	+419	+6.7%	賃上げ継続。採用も拡大。
うち退職給付関連	203	136	13	▲ 79	▲ 66	▲ 32.8%	
運賃・倉庫作業料	4,664	5,241	+250	+326	+577	+12.4%	入出荷量増加+単価値上がり想定
研究開発費	25	43	▲ 2	+20	+18	+72.6%	医療用総合カタログ向け PB品など
不動産賃借料	1,304	1,978	345	329	674	+51.7%	阪神DC賃借料増（4月から）
減価償却費	852	913	16	+43	+60	+7.1%	固定資産投資予定16億円
ソフト償却費	448	487	+5	+33	+39	+8.8%	IT投資予定7億円
その他	2,961	3,658	+446	+250	+696	+23.5%	行動費正常化、光熱費、設備修繕、備 品消耗品費、手数料等（含む阪神DC）

24/3期 予想損益計算書

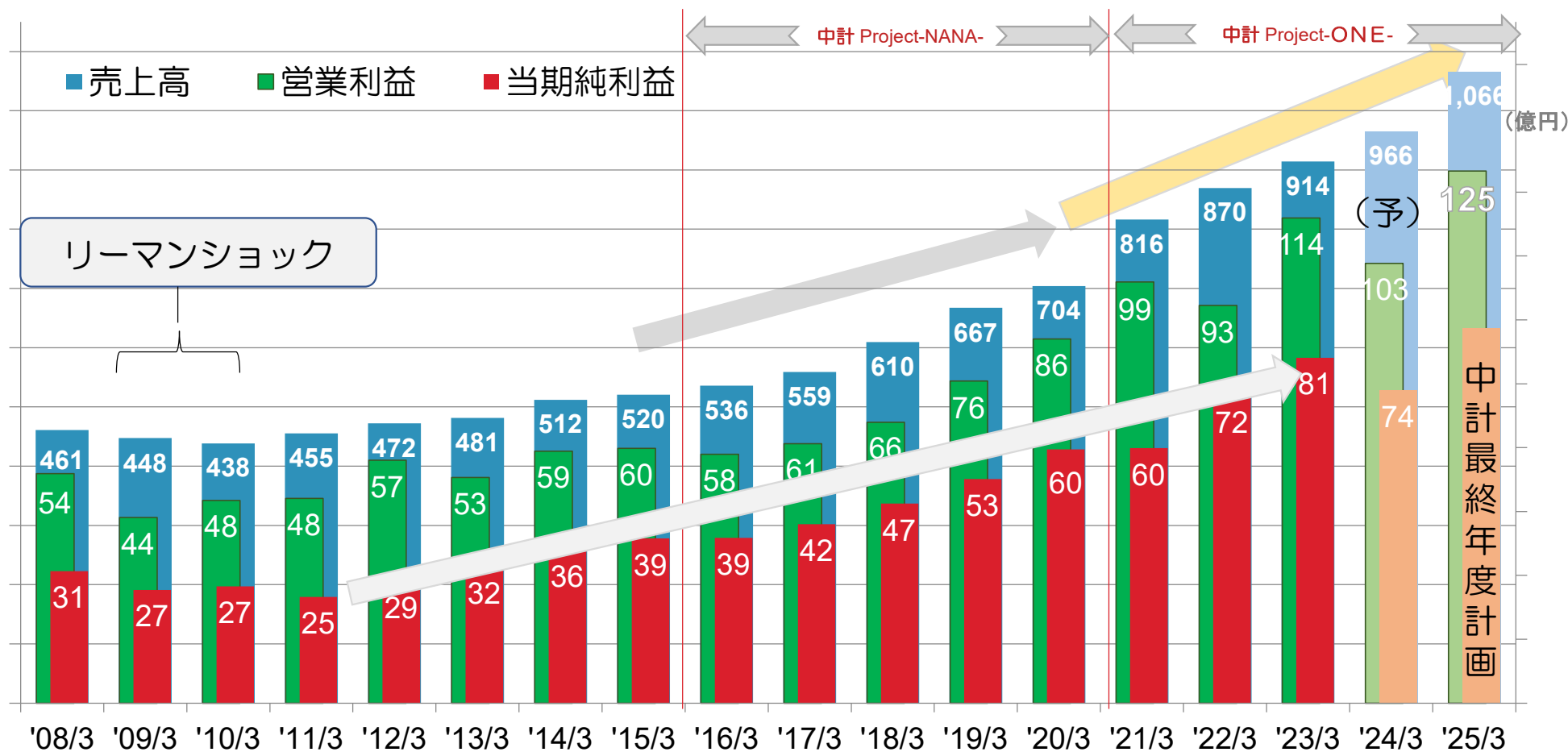
見通し

▶ 将来への物流基盤整備のため一時的に減益見通しなるも、売上成長にて次年度以降コスト吸収予定。

	2023/3実績		2024/3予想		前年比増減額		通期前年比		補 足
	金額	売上比	金額	売上比	上期実績	下期計画	増減額	増減率	
売上高	91,421	100.0%	96,600	100.0%	+2,092	+3,085	+5,178	+5.7%	前期：上期+5.3%下期+5.0% 当期：上期+4.9%下期+6.3%
売上総利益	28,450	31.1%	29,998	31.1%	+650	+898	+1,548	(0.1p)	調達価格アップは平行して売価に反映 前期：粗利率上期31.4%+下期30.8% 当期：粗利率上期31.4%+下期30.7%
営業利益	11,396	12.5%	10,330	10.7%	▲ 689	▲ 377	▲ 1,066	▲9.4%	阪神DC開設9億、運賃等単価増6億、 人件費増4億他コストUP 阪神DC開設等に伴う一時的減益
経常利益	11,637	12.7%	10,710	11.1%	▲ 500	▲ 426	▲ 927	▲8.0%	阪神DC開設等に伴う一時的減益
特別損益	30	0.0%	0	0.0%	0	▲ 30	▲ 30	-	前期：政策保有株上場時の売り出し
当期純利益	8,112	8.9%	7,350	7.6%	▲ 380	▲ 382	▲ 762	▲9.4%	阪神DC開設等に伴う一時的減益
※ 当期純利益/1株(円)	218.90		203.11		▲ 7	▲ 8.45	▲ 16	▲7.2%	
※ 配当金/1株(円)	111.00		101.00		+2.00	▲ 12.00	▲ 10	▲9.0%	配当率50%

※ 2022年1月に1株を2株に分割。過去に遡及して当期純利益及び配当金を2分の1に補正済。

➤ 成長に向けた物流投資で一旦減益も、力を蓄え中計最終年度増益を目指す

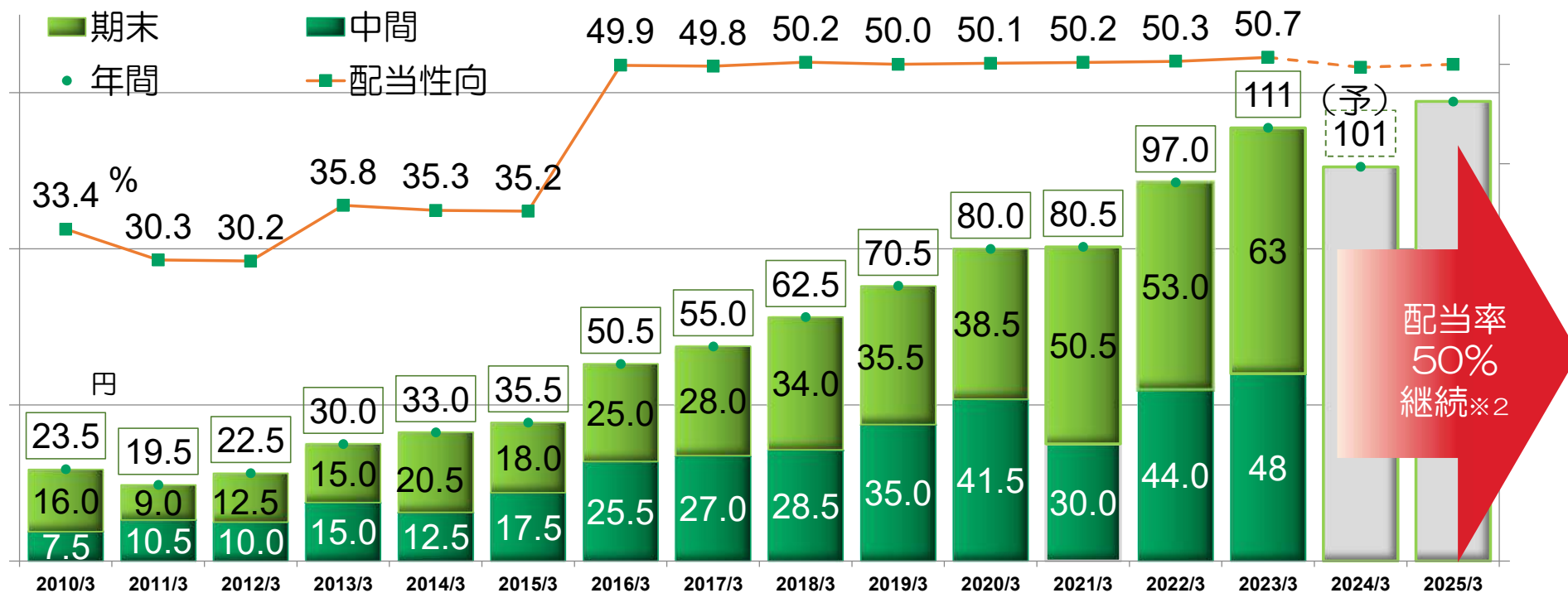


配当予想

見通し

■ 一株あたり **101円** 前年比 ▲10.0円

➤ 配当率50%継続※2。12期連続増配中。



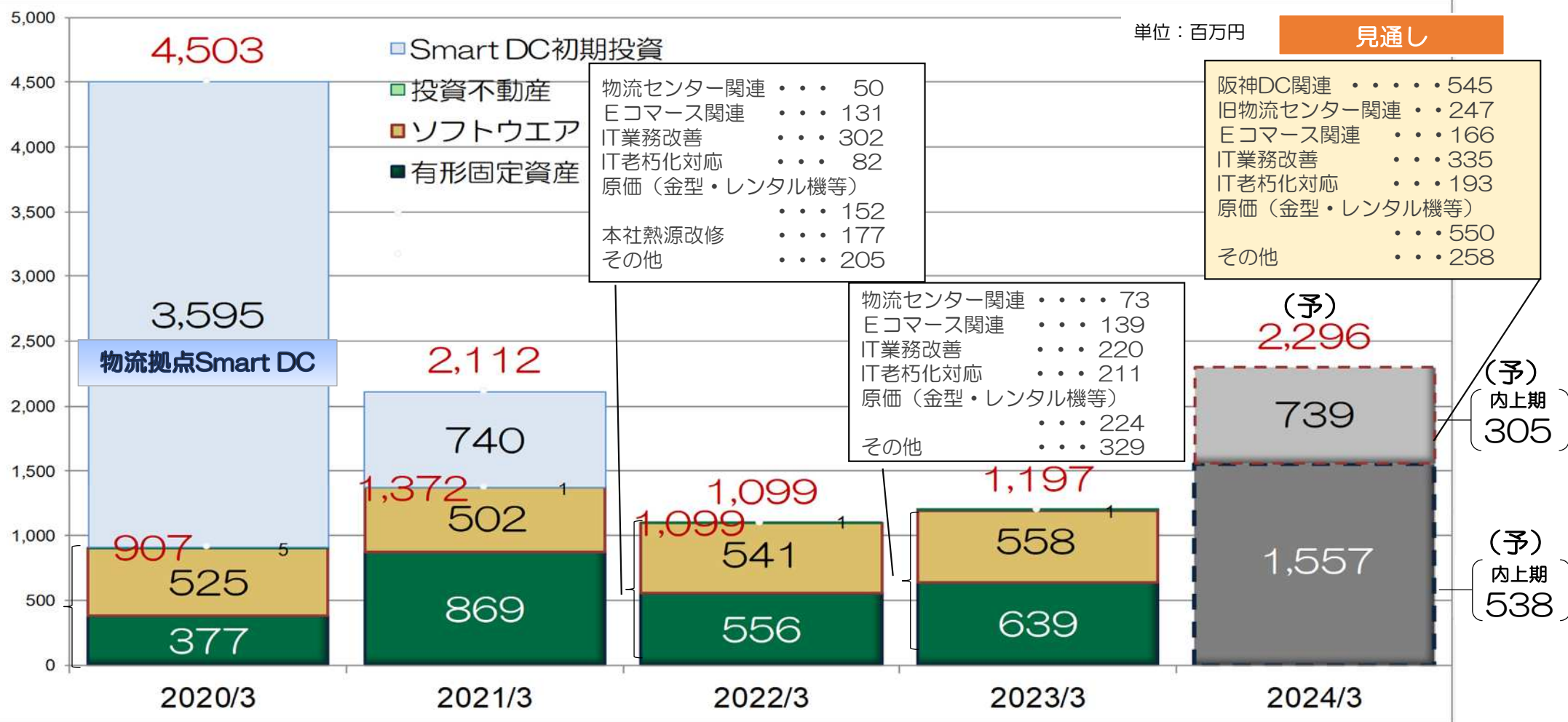
※1. 2022年1月に1株を2株に分割。過去に遡及して配当額を2分の1に補正済。

※2. 2023年3月期より基準値より特別損益の影響額を控除。

投資推移

見通し

➤ 業務のDX化推進。「阪神DC」を賃借開設。

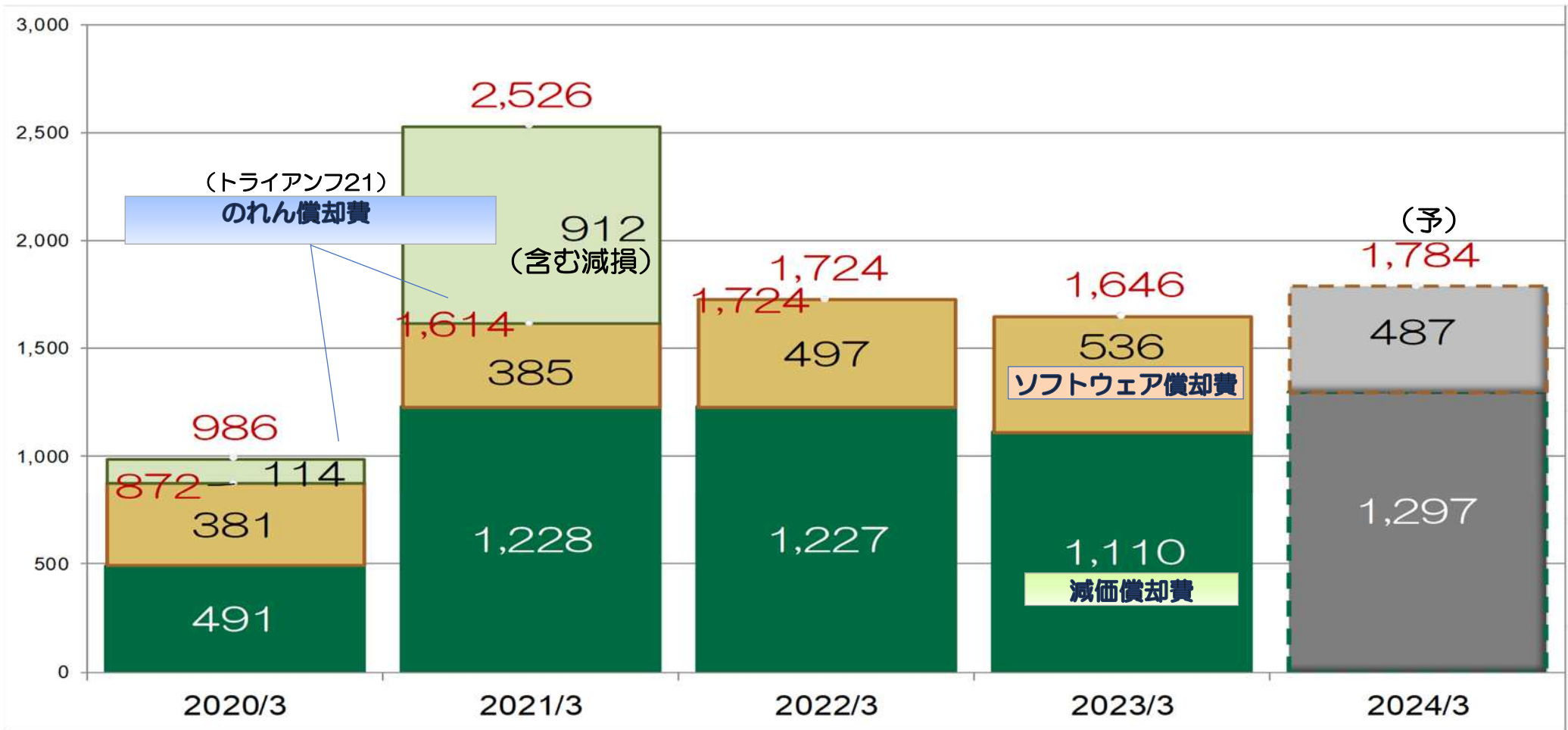


償却費推移

見通し

➤ 阪神 DC開設とIT投資で微増。

単位：百万円



決算概要・中期経営計画・ビジネスモデル等にご質問がございましたらこちらまでご連絡ください。

広報IR部
06-6447-8821
asone_ir@so.as-1.co.jp

中期経営計画2022年5月修正版

https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym1/118558/00.pdf

ビジネスモデル解説資料2022年9月改定版

https://ssl4.eir-parts.net/doc/7476/ir_material_for_fiscal_ym1/124158/00.pdf